

公民科 授業シラバス (倫理)

＜検印＞ 校長 大濱裕司 教頭 仲舛 盛順 教頭 宮城 哲夫

1	単位数・・・ 2単位 対象学年 (クラス)・・・ 3学年
2	<p>教科・科目の目標とねらい</p> <p>哲学的な思考力をつけるとともに先人達の様々な思想や考え方を学び、「自己の主体性の確立」・「人間としての在り方や生き方」などを考察していく教科です。</p>
3	<p>学習方法と家庭学習</p> <p>授業では、教科書を中心に資料集・ノート・プリント等を使用します。真剣に先生の話の聞き、必要などころは下線を引いたり作業やプリント学習によって理解を深めることも必要でしょう。家庭学習では、一つの単元が終わったら重要語句やまとめを時間をかけてやりましょう。</p>
4	<p>使用教科書・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書 高等学校改訂版「倫理」(第一学習社) ○ 副教材 「最新倫理資料集 テオリア」(第一学習社)
5	<p>テストと評価</p> <p>テストは定期考査が5回と実力テスト1回の計5回あります。どれも授業で学習した基礎的・基本的な理解度を問う問題です。評価の方法は、5回のテスト点を8割、提出物点や無届欠課・遅刻・授業態度などの勤怠点で2割として計算して評価します。</p>

6・進路表

【1学期】

月	時	章	項 目	学 習 内 容	備 考	
4 月	1		倫理の学習について	学習の心構えについて説明		
			第一編 青年期の課題と人間としてのあり方生き方			
	2	第 1 章 と 自 己 年 形 期 成 の	1 人間とは何か	人間らしさについて考える。		
	3		2 青年期の意義と課題	青年期の特徴と人生における		
	4		3 自己形成と自己の生き方	地位、その課題について学ぶ。		
	5			主体性の確立、自己理解、精神的安定、友人との交際、社会との関係、現実に向かう姿勢などの課題について、青年期にどのような形で現れてくるかを学ぶ。		
	6					
	7					
	8	第 2 章 人 間 と	1 神話から哲学へ	人生についての考察は「哲学」		
	9		2 ソクラテス	することであり、その根源を		
10	3 プラトン		ギリシアの思想や中国の思想			
11	4 アリストテレス		から学ぶ。			
12	5 ヘレニズム時代の思想		宗教が人生にどのような意味を持つのか考え、仏教、キリ			

5 月	1 3	し て の 自 覚	6 古代ユダヤ教	スト教、イスラム教の基本的な内容を学ぶ。 美への感動と愛への関連について理解させ、芸術の意義について学ぶ。	1 学期 中間テスト				
	1 4		7 イエスの教え						
	1 5		8 キリスト教の成立と発展						
	1 6		9 イスラーム						
	1 7		10 古代インド社会と思想						
	1 8		11 ブッダの思想						
	1 9		12 仏教の展開						
	2 0		13 孔子と儒家の思想						
	2 1		14 経学の成立と発展						
	2 2		15 道家の思想						
	2 3		16 人生と芸術						
	6 月		2 4			第 3 章 現 代 社 会 を 生 き る 倫 理	1 日本の風土と社会	古代日本人の考え方や生き方 日本人の人間観・自然観について学ぶ。 日本人の宗教観について学ぶ 「はらい」「みそぎ」「誠」「き明き心」など日本人の倫理観について学ぶ。 古典にあらわされた日本人の無常観と美意識について学び、武士道との関連について考える。親鸞や道元、日蓮などの日本的仏教の考え方について学ぶ。 儒教については現在の日本人の生活に与えた影響について学び、国学は本居宣長の思想を中心に学ぶ。	1 学期 期末テスト
			2 5				2 古代日本人の考え		
			2 6				3 外来思想の土着化		
			2 7				4 仏教の受容		
			2 8				5 仏教の展開		
2 9		6 仏教と日本文化							
3 0		7 儒学の受容と展開							
3 1		8 国学の誕生							
3 2		9 庶民の思想							
3 3		10 幕末の思想							
7 月	3 4	11 啓蒙と民権論							
	3 5	12 キリスト教と国民道徳							
	3 6	13 近代自我の確立							
	3 7								
	3 8								

【 2 学期】

月	時	項目	学習内容	備考
9	3 9	14 近代日本における哲学の誕生	日本人が西洋の近代思想をどのように受容し、また日本的	
	4 0	15 大正デモクラシーの思想		

月	4 1	16 昭和初期の思想と超国家主義	<p>な伝統思想とどのように統合しようとしたか、その特質と代表的な先人の思想と行動に焦点をあてて学ぶ。</p> <p>戦後の思想状況を理解し、日本人の思想的課題について学ぶ。</p> <p>国際化される社会の中での行為のあり方や異文化について学ぶ。</p>	
	4 2	17 現代の思想的状況		
10 月	4 3	18 地球と人類社会		
	4 4	19 国際社会に生きる日本人		
	4 5			
	第2編 現代と倫理			
	第1章 現代に生きる人間の倫理			
	4 6	第2章	1 ルネサンスと宗教改革	<p>西洋の人間についての考え方の流れを押さえ、ルネサンスや宗教改革に始まる近代的な人間尊重の考え方について学ぶ。カントやニーチェ、キルケゴールなどの思想を学ぶ。</p> <p>近代的な学問や真理探究の方法がいかに確立されたかを学ぶ。</p> <p>社会契約説やヘーゲルの人倫の思想、功利主義、社会主義思想などを通して個人の権利、義務と自由、法と主権、個人の幸福と社会全体の善の促進などについて学ぶ。</p>
4 7		2 デカルト		
4 8		3 カント		
4 9		4 ヘーゲル		
5 0		5 実存主義		
5 1		6 自然権と社会契約		
5 2		7 功利主義		
5 3		8 社会主義		
5 4	人現	9 社会参加と奉仕		
5 5	間代	10 近代科学の形成		
11 月	5 6	の倫		2 学期 期末テスト
	5 7	生		
	5 8	理		
	5 9	き		
	6 0	る		
	6 1			
12	6 2	11 プラグマティズム		
	6 3	12 現代と科学技術		
	6 4	13 現代のヒューマニズム		
	6 5	14 現代の思想の流れ		
	6 5	第3章		

月	6 6	章	2 現代の環境問題	生命倫理やインフォームドコンセントについて学ぶ。 消費社会における人間像や特徴、問題点について学ぶ。
---	-----	---	-----------	---

【3 学期】

月	時	章	項目	学習内容	
1 月	6 7 6 8 6 9 7 0	現 代 の 諸 課 題 と 倫 理	3 家族のあり方と アメニティの意義 4 情報化社会の功罪 5 異文化の理解 6 人類の福祉	情報の持つ意味と機能を理解 させ、メディア時代の問題点、 テレビの中のリアリティにつ いて学ぶ	3 学期 期末テスト